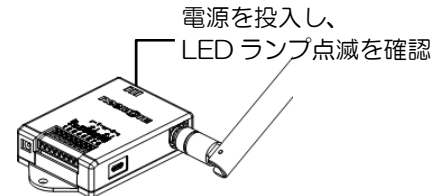
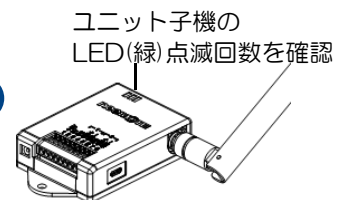


**RS485 無線化ユニット
WS-Z600A**
トラブルシューティングガイド

このたびは、RS485無線化ユニットをご使用いただきありがとうございます。
 製品の設置・運用開始にあたり、通信が確認できない場合は、お問い合わせの前に本紙の項目についてご確認をお願い致します。より詳細な内容をお知りになりたい場合は取扱説明書をご覧ください。
 取扱説明書は <http://www.neomote.com/modules/d3downloads/>よりダウンロードできます。

RS485 無線化ユニットの通信が確認できない
YES
電源投入直後に LED ランプの点滅が確認できますか？

YES
NO
電源を確認する

電源投入直後 30 秒以内にどの LED も点灯しない場合は、電源が入っていない可能性があります。
 供給電源および AC アダプタ、電源ケーブルの接続を確認してください。⇒取扱説明書 P.56～57

ユニット子機の LED（緑）の点滅回数が 3 回以上ありますか？

YES
NO

ユニット親機、ユニット子機の順に電源を入れた後、ユニット子機の LED（緑）の点滅回数が 1 回または 2 回の場合は、ユニット子機は無線ネットワークに参加していません。
 下記をご確認の上、ユニット子機の LED（緑）点滅が 3 回以上になることを確認してください。

- ⚠ 注意**
- ・ユニット子機の LED（緑）は 10 秒おきに点滅を繰り返します。
 - ・ユニット親機（ノード ID が 0 のユニット）は電源投入時を除き、LED（緑）が点滅することはありません。

各ユニットの無線設定（スイッチ）を確認する

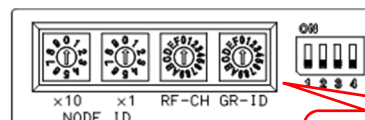
「無線ノード ID (NODE ID)」、「無線チャンネル (RF-CH)」、「グループ ID (GR-ID)」が正しく設定されているか確認してください。

同一ネットワークでは「無線チャンネル (RF-CH)」「グループ ID (GR-ID)」は同じ設定にしてください。

「無線ノード ID (NODE ID)」が正しく設定されているか確認してください。

同一ネットワークでは「無線ノード ID (NODE ID)」は重複できません。

⇒取扱説明書 P.19～21



NODE ID が重複していないこと。

各ノードの RF-CH, GR-ID が同じであること

電波強度を確認する

近隣の親ノード候補との電波強度が弱くネットワークに参加してない可能性があります。電波強度を上げる為に、ユニット子機の設置位置の改善や、中継ノードを追加するなどして、ユニット子機の LED（緑）の点滅回数が 3 回以上になるように設置を試みてください。

⇒取扱説明書 P.61 ※安定した通信を行うためには LED(緑)の点滅回数が 4 回以上必要です。

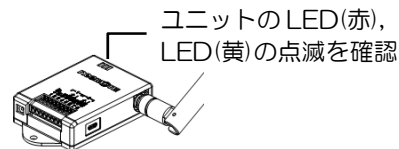
また、ユニット子機を電波調査モードにすることで、よりわかりやすく電波強度が確認できます。

⇒取扱説明書 P.64～65

次ページに続く

ユニットのLED（赤）、LED（黄）が点滅していますか？

YES



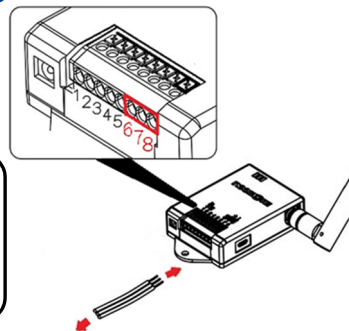
ユニットの LED(赤)、LED(黄)の点滅が確認できない場合は、ユニットとユーザー機器の間で通信ができていない可能性があります。下記の項目について確認してください。

※ユニットの設定によってはうまく通信できていなくても LED(赤)、LED(黄)の点滅が確認できる場合がありますので、その場合も設定に誤りがないか確認してください。

ユニットとユーザー機器をつなぐRS485ケーブル配線を確認する

RS485 ケーブルの配線が正しくないと、電文の送受信が行えません。RS485(+),(-),SG が正しく接続されているか確認してください。

⇒取扱説明書 P.55

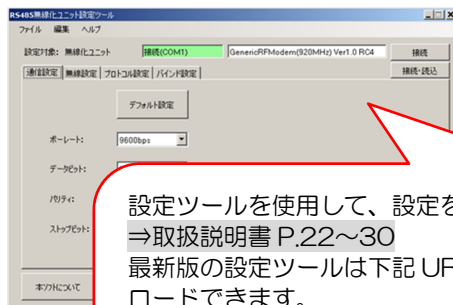


注意 ユーザー機器に SG(シグナルグランド)端子がない場合は SG 端子の接続は行わずにご使用ください。ユニットの SG 端子とユーザー機器の「G」端子や「E」端子などを接続しないでください。

通信設定を確認する

ユニットとユーザー機器の RS485 通信設定が異なる場合、通信および電文の送受信が行えません。設定ツールを使用して、ユーザー機器の通信仕様に合わせて、ユニットの通信仕様を設定してください。

⇒取扱説明書 P.29~30



設定ツールを使用して、設定を行います。

⇒取扱説明書 P.22~30

最新版の設定ツールは下記 URL からダウンロードできます。

<http://www.neomote.com/modules/d3downloads/>
neoMOTE モデム設定ツールセットアップ

プロトコル設定を確認する

プロトコル設定が異なっている場合もユーザー機器の仕様に合わせて設定ツールを使用してプロトコルを設定してください。

⇒取扱説明書 P.32~37

※無線ノード ID とユーザー機器のアドレス確認を行ってもうまく通信できない場合は、上記項目の確認もお願い致します。

無線ノード ID とユーザー機器通信アドレスが対応しているか確認する。

無線ノード ID とユーザー機器の通信アドレスが対応していないと正しく通信ができません。無線ノード ID とユーザー機器が正しく対応しているか確認してください。

・1台のユニットに1台のユーザー機器を接続する場合

無線ノード ID とユーザー機器通信アドレスを同じ値に設定してください。

⇒取扱説明書 P.52

・1台のユニットに複数のユーザー機器を接続する場合

バインド設定で指定した無線ノード ID に合わせて設定してください。

⇒取扱説明書 P.53~54

注意 ユーザー機器（マスター）と無線ユニット親機が接続されている有線接続ラインにユーザー機器（スレーブ）が有線接続されている場合は、有線接続しているユーザー機器（スレーブ）に対して、使用していない無線ノード ID（仮想 ID）をバインド設定で指定してください。